



第25週の発生動向 (2004/6/14~2004/6/20)

- 1 咽頭結膜熱については、先週に引き続き、弘前、むつ保健所管内で**警報**が出されています。
- 2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、増加傾向にあり注意が必要です。

第25週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ															
(60) 咽頭結膜熱	6	0.75	6	0.60					1	0.17	2	0.50	15	0.36	-11
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	1.00	22	2.20	3	0.33	3	0.60	13	2.17	4	1.00	53	1.26	+17
(62) 感染性胃腸炎	25	3.13	17	1.70	2	0.22	1	0.20	18	3.00	19	4.75	82	1.95	-25
(63) 水痘	27	3.38	5	0.50	11	1.22	7	1.40	23	3.83	2	0.50	75	1.79	-15
(64) 手足口病			1	0.10					1	0.17			2	0.05	+1
(65) 伝染性紅斑	6	0.75	1	0.10	2	0.22							9	0.21	±0
(66) 突発性発疹	6	0.75	6	0.60	2	0.22	1	0.20	1	0.17	7	1.75	23	0.55	+10
(67) 百日咳															
(68) 風疹															-2
(69) ヘルパンギーナ			17	1.70	3	0.33			4	0.67	11	2.75	35	0.83	±0
(70) 麻疹(成人を除く)															
(71) 流行性耳下腺炎	1	0.13	3	0.30	21	2.33	3	0.60	1	0.17	1	0.25	30	0.71	+8
(73) 急性出血性結膜炎															
(74) 流行性角結膜炎					1	0.50			1	0.50			2	0.18	-1

	定点数			
	インフルエンザ	小児科	眼科	基幹
青森	13	8	2	1
弘前	15	10	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	64	42	11	6

※ インフルエンザ定点については、内科定点と小児科定点を合わせたものです。

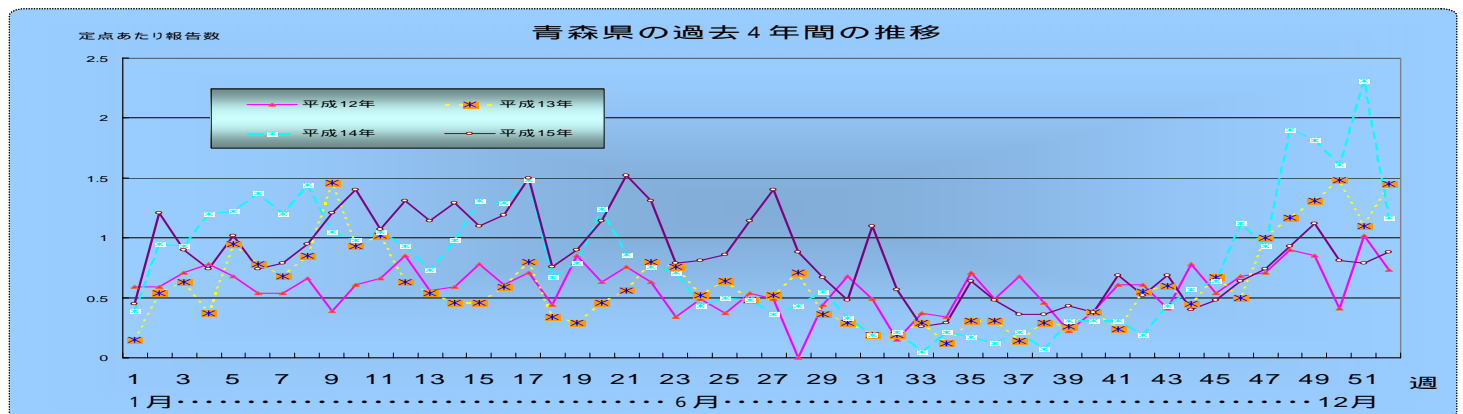
■ は注意報、■ は警報です。 「空欄」：患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (16年計には、今回届出された人数を含む)

- (29) つつが虫病 (四類全数把握疾患) 上十三保健所管内 1人 (16年計 1人)
- (59) RSウイルス感染症 (五類定点把握疾患) 弘前保健所管内 2人 (16年計 22人)
- (82) マイコプラズマ肺炎 (五類定点把握疾患) 八戸保健所管内 4人 (16年計 58人)

感染症の窓

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



- 病原体** ☞ A群溶血性レンサ球菌 (*Streptococcus pyogenes*) です。
- 臨床症状** ☞ 発熱、咽頭の発赤と痛み、莓舌。
- 好発年齢** ☞ 5~15歳。
- 好発時期** ☞ 通常は、冬期および春にかけて多発します。
- 発生状況** ☞ 過去4年間の発生状況を見ると、冬から春にかけてピークが見られますが、近年は初夏にも増加傾向が認められています。
- 感染予防** ☞ 本疾患は、保菌者の唾液や鼻汁の飛散等によって感染するため、家庭や学校などの集団生活の中ではうがい、手洗いの励行が大切 です。

